

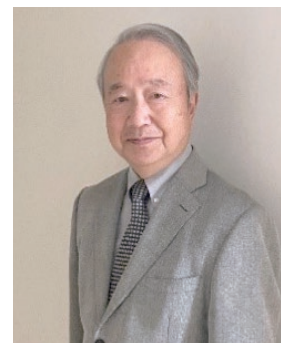


## 新年度を迎えて ～理事長挨拶～

「人類史の変換点？」

COVID-19パンデミック3年目となる2021年度は、歴史に残る出来事が目白押しでした。4月全国民対象のCOVID-19ワクチン接種に始まり、異例の無観客開催の夏季東京・冬季北京オリンピック・パラリンピック。その上加わったのが2月24日勃発のロシアによるウクライナ侵攻です。この21世紀に国家間の大規模戦争が起きてしまったという事実を戦場の映像付きで突き付けられ、胸が締め付けられるような嫌な感覚を持ちました。国連も含めてどの国も一人の独裁者の暴走を制止出来なかったのであり、平和というもののもろさ、維持の難しさを実感させられました。しかし慨嘆するは一瞬のこととして、戦争の終結を早期に実現せねばならず、更には平和維持のための新たな仕組みを構築することが急務です。これからの1年は、人類史に残る変換点になるのではないかと考えています。

当センターは、与えられた役割をしっかりと果たすべく、COVID-19への警戒を怠らず本年も精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願い致します。



理事長 星野雄一



## トピックス ～センター各部を紹介します～

### 診療部

診療部は医務課と診療技術課、地域医療連携室の2課・1室体制となっています。医務課には診療を担う各科の医師が所属しており、リハビリテーション科・整形外科・小児科・神経内科の専門医が常勤で働いています。診療技術課は、薬剤師の薬剤科、臨床検査技師の検査科、診療放射線技師の放射線科、管理栄養士の栄養科が、医師とともに診療を担っています。地域医療連携室は、保健師・社会福祉士・事務が所属し、地域連携の窓口として、転院相談、入院相談の受付をしており、地域の医療機関、介護保険関連機関と連携しています。

令和4年度は、薬剤師が1名増員、臨床検査技士1名が退職に伴い1名新規入职しました。



## 管理部

地方独立行政法人5年目を迎えましたが、リハビリテーションセンターを支える管理部のご紹介をいたします。

管理部は経営企画室、総務課、財務課、医事課で組織されております。今年度は、4名の人事異動のほか、新人1名が加わりました。

管理部は、法人としての経営戦略の企画立案をはじめとして、人事、職員の給与や福利厚生といった職員全般に関わる業務、センター経営収支に繋がる予算・決算に関する業務、病院としての診療報酬に関する業務など、センター全体の組織運営を担っています。



今年度は、地方独立行政法人として初めて作成した第1期中期計画（2018年度～2022年度）について、最終年度としての評価を受けます。更に、第1期中間計画の課題や医療および障害福祉サービスを取り巻く状況の変化等を踏まえて次期計画を作成することとしています。

新型コロナの影響がまだに残る状況ではありますが、法人として安定的な経営が行えるよう、また、センター職員が笑顔で働けるよう管理部一同これからも頑張っていきます。

## 施設部

施設部には、肢体不自由や発達障害等のある障害児の通所施設である「こども発達支援センター」、主に肢体不自由児が入所して地域社会で自立した生活ができるよう療育や訓練を行う「こども療育センター」及び身体障害や高次脳機能障害等の障害をお持ちの方がより自立した生活を目指し訓練する「障害者自立訓練センター（駒生園）」があります。

病院併設のメリットを活かし、多くの専門職が連携して支援に当たる充実した職員体制が特徴です。今年度は、3施設に計77名が配置されています。

これからも、利用児・利用者さんの思いに寄り添い、「できた！」という笑顔を増やしていけるよう施設部職員一同頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



## 看護部

看護部は、4月に5名の新人を迎え新年度スタートしました。

新たなスタッフを迎え、リハビリテーション医療を提供する専門職種チームの一員として知識・技術を高め、良質な看護の提供に努めます。

看護部令和4年度目標を紹介します。

- 1、質の高いリハビリテーション看護を提供する。
- 2、安心・安全な環境を提供する。
- 3、一人ひとりが経営参画の意識を持つ。

今年度も、感染防止策の徹底を図り、安心・安全な療養環境の提供と、働く環境整備を更に進めるため、笑顔で働ける魅力ある職場作りに努めていきます。目標が達成できるように取り組んでいきます。

Nursing now 看護の力で健康な社会を！



令和4年度新規採用5名

## リハビリテーション部

担当病棟ごとにチームを作るようになって3年、職種混成のチーム体制も整ってきました。リモートでのリハビリ見学や退院支援を行えるようになり、特に普段の様子が分かるリハビリ見学は、ご家族からも好評をいただいています。昨年は、休日のリハビリテーションの充実に取り組み、平日同様のリハビリテーションを提供することが出来ました。

今年度は、2名の新採用職員を迎え、79名でのスタートです。入院・外来ともにより良いリハビリテーションが提供できるよう、引き続き努めていきます。



5階担当チーム



## トピックス2 ～MRIが新しくなりました～ 「患者さんに優しい」MRI検査を提供できるようになりました。

### 2022年4月よりMRI装置が更新され、GE社製の 1.5テスラMRI装置「SIGNA Voyager」が導入されました。

この新しいMRI装置は、確実で精度の高い画像撮影のためにAI（人工知能）技術が組み込まれております。撮影方法にも新しい技術が導入され、従来の機器では撮影するのが難しかった広範囲での撮影、呼吸が不安定な方の撮影等にもその技術が利用でき、安定した撮影が望めます。検査の種類によっては不快な撮影音の低減も可能となりました。

MRI検査を安全、安心に、できるだけ苦痛なく受けられるように、放射線科ではこれらの機能を最大限に活用することで患者さんの負担を軽減し、診断に大いに役立つ画像情報の提供に努めてまいります。



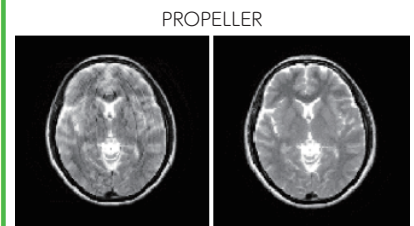
テーブルが本体から着脱可能です。  
歩行・移乗困難な患者さんに対しMRI室  
の外で多人数で安全に移乗ができます。



重度肥満の方、円背の方、腰痛の方も、  
横向きで検査を受けていただけます。



最新技術・毛布のようなエアークoil。  
体格や体型を問わず心地よくフィットします。



（左：補正なし 右：補正あり）  
動きによる画像ボケが補正できます。

地域医療機関の診療業務の充実、地域住民の方々の診療内容の充実、疾患の早期発見を目的としMRI・CTの共同利用を行っています。お気軽にお問い合わせください。

**問い合わせ先 医事課 電話 028-623-6124**

## インフォメーション ～職員採用情報～

当センターでは、一緒に働く職員を募集しております。  
ご応募お待ちしております。

詳細は、当センターホームページ  
「採用募集情報」(<https://tochigi-riha.jp/>) をご覧ください。

(発行) 地方独立行政法人  
栃木県立リハビリテーションセンター  
管理部総務課

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1  
TEL 028-623-6101 (代表)  
FAX 028-623-6151  
ホームページ <https://tochigi-riha.jp/>



©本冊子はユニバーサルデザインフォントを使用しています。  
※ユニバーサルデザインフォント…年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、さまざまな人が読みやすく、誤読されにくい書体です。